

## ベルクハイムあやうし？

OB 会会長 22 期 黒崎 敏男

今年 8 月 4 日に石川県南部を中心とした大雨があった影響で、駒帰集落から先が通行止めとなってしまうました。寺津ゲートにさえたどり着けない状態で、小屋はますます遠くなり、かといって長時間かけて徒歩にて往復する根性もなく、困ってしまいました。復旧工事がいつ実施されるのか、されてもいつ車の通行が許可されるか現時点で不明です。

アプローチでもかねてから難所となっている小屋手前の川岸の「へつり」周辺は、以前から浸食が激しかったため、水量計にもたどり着けない可能性もあり、これからはう回路の尾根筋を行くしかないかもしれません。それ以前にダム湖の歩道も足元直下に湖面が見えるような切れ落ちた危険な箇所が年々増加しているので、もしさらに状態が悪化していれば、通行に時間がかかり、精神的にも疲労すること間違いありません。

小屋自体の状態も心配ですし、小屋じまいができなかったため、水を取り込むホースも来春果たして使用可能なかわからず、こうなってしまうては無事であることを祈るしかないところです。今年夏にはヘリコプターが出動した救助事故のケースもあり、今では完全に秘境です。

先輩方の青春の思い出の地である犀奥ですが、自分が金沢に戻り、OB 会活動に参加してからの 10 年余りでもその変化をはっきり認識せざるを得ない印象を持ちます。倉谷関係者の皆さんも高齢化し、道の維持のボランティアも限界が近づいていることもあり、県道の通行規制もあり最小限の小屋作業の活動しかできていませんが、それすら難しくなりつつあるのが現実です。

そうはいつても今すぐ小屋の維持をあきらめる必要はないので、知恵をしばって何とか活動維持をしつつ、高三郎登山の可能性も捨てずに道の整備を復活したいところです。我々 OB 会だけでなく、他の団体、個人とも協力していく段階かもしれません。

さて、このような状況ですが、次回の春の小屋作業は来年 5 月前半を予定しています。小屋作業、登山道整備を計画してみますので、希望者は遠慮なくご連絡ください。特に、金沢近郊にお住いの OBOG の皆さんにはこうした状況への対応協力としてお誘い合せの上ぜひご参加ください。

また、来年 9 月 30 日（土）に総会・65 周年記念行事を金沢 KKR ホテルにて開催する予定です。5 月頃にご案内しますので、こちらも万障繰り上げご参加をお願いいたします。新型コロナ対策として、総会は別室にて席間のスペースを確保し、また懇親会は全席テーブル着席形式です。

今回、その総会にて皆様に提案したい内容を後のページに記載しました。様々な意見があるかとは思いますが、これに関してもご意見をお寄せください。

私自身もできるだけ多くの会員の皆様と直にお話しする機会をもつよう努力しますので、お会いできた際には忌憚のないご意見を承りたく存じます。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。